



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地まぢづくり**をすすめています。市内各地域の地まぢづくり活動団体によって取り組まれている地まぢづくりなどを**地まぢのチカラ**で情報発信します。

2022.12.27

vol.85

## 《R4まちづくりびと講座 終了しました!》

地まぢNEWS

「小ネタが地域を面白くする!」をテーマに、10月から始まった令和4年度のまちづくりびと講座(共催:熱田図書館)は、今月11日を最終回(第4回)として、無事終了しました。

熱田のまちを歩いて見つけた小ネタを、それぞれが独自の切り口で新聞にまとめ、みんなの小ネタを集めた小ネタ新聞が完成。この新聞はセンターHPに加え、熱田図書館にも展示される予定です。



互いの切り口について感想を述べあったり、図書館が用意してくれた熱田の本で盛り上がりたり! 最後は各自小ネタを活かした今後の展望を語りました。みなさんの更なる深掘りを期待しています!



~地まぢCampus勉強会~

▶NEXT! 小ネタ講演会が開催決定!

令和5年2月18日(土) 13:30~16:00

東京大学社会科学研究所の中村寛樹准教授を招き、「KNT(小ネタ)理論」についてお話いただきます!



詳細はコチラ

### 地まぢ団体紹介

#### 大曾根まちそだて会議

#### 商店街から地域へ

大曾根まちそだて会議は、2020年に発足、北区大曾根両商店街を核に、持続的な地域づくりを目的に活動しています。現在は商店街の関係者や地域住民に加え、学生の若い力も取り込んで、毎月多様な意見の飛び交う活発な会議や、様々な活動を行っています。

まちそだて会議は、商店街と地域をつなぐ役割を担っていると語られるのは、事務局長の西山さん。イベントや路上空間活用の実験

#### 会議の様子



を行いながら、商店街を地域の人が日常的に訪れて交流できる居場所、自分の家のように感じられる「マイホームストリート」にしていきたいとお話いただきました。



### 地まぢ チャレンジ ~31人目~

三田祐子さんご紹介

(株)大藤エンジニアリング代表取締役社長  
べちゃくちゃないと名古屋 オーガナイザー  
藤田 聖人さん

Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと  
A まちづくりに取組んでいるつもりがなくて、自然にその活動に務めている人たちに会えること。

Q これから取組みたいと考えていること

A 人と人とが楽しく、刺激的、有機的に繋がれる場所をつくること

Q 最後にひとこと

A つまらない人はいつもつまらないことを考えていて、おもしろい人はいつもおもしろいことを考えている。

### 地域の取組み

#### 大曾根 路上空間活用方法検討WS

#### 大曾根ストリートの未来像

大曾根まちそだて会議の協力のもと、名城大学の学生たちによって、新たなストリートの活用方法を模索するワークショップが2か月間に渡って開催されました。「こんなストリートの活用もできるのでは」「こんなチャレンジができるのでは」という思いから、3つのイベント(社会実験)やアンケート調査を実施しました。学生のみなさんの熱意に加え、若者がチャレンジできる、まちそだて会議の雰囲気、成功に一役買っていたと感じます。

#### ストリートピアノ×書道体験▶



◀ OZONE STREET PARK



カクテルづくり体験▲

発表者は20枚のスライド×各20秒の計400秒でプレゼン、それを肴に観客がおしゃべりをする「べちゃくちゃないと」。藤田さんはそのオーガナイザーをされています。プレゼンターは業界を問わずユニークな活動をされている方々。仕事だけでは関わらない人たちと出会い、世界が広がるのが魅力とのこと。地域の中でも普段接点のない人同士の交流と発信の場になっています。この活動を「真剣な趣味」だと語られました。他にも、地域×アートでそれぞれの魅力を引き出したいと、三谷温泉のアートプロジェクト「ととのう温泉美術館」など、様々な活動に取り組まれています。(松井)

